

参考様式第1及び参考様式第2の別添3

漁業集落復興効果促進事業の概要を示す書類

事業番号	☆ C 5 - 10 - 3	事業名	(29) 磯場資源回復事業				
事業概要	採介藻漁業資源回復事業						
<p><b>【事業目的】</b>                  宮古市の沿岸海域では、コンブやウニ等の採介藻漁業が盛んであるが、東日本大震災による津波によって海底の泥や砂が大規模に巻き上げられ、また陸からは多量の土砂等が流れ込む等したため、コンブ等の藻類の資源量が大きく減少、また、コンブ等の藻類（藻場）を餌場・生育場とするウニ、アワビ等の資源量も大きく減少した結果、宮古市の採介藻漁業の生産量は、震災前の平成22年度の1,124tから平成28年度の384tに大きく落ち込んだままとっている。                  本事業では、漁業者が行うことが可能な養殖したコンブの天然のコンブ漁場への移植手法を、漁業者との実証事業で確立し、ウニやアワビの餌場・生育場を確保することで、コンブ・ウニ・アワビの資源量・生産量の回復を図り、宮古市の採介藻漁業の復興を図るものである。</p> <p><b>【事業内容】</b>                  コンブ増殖の実証事業（平成30年度～令和元年度）〔実施済み〕                  養殖したコンブの天然のコンブ漁場への移植の手法を漁業者との実証事業により確立する。                  ※実証事業終了後の施設の維持管理については、海域を漁場とする3漁協が受託し、漁業者自らが本事業で開発した手法を用い、コンブ・ウニ・アワビ増殖に取り組む。</p> <p>コンブ増殖施設設置事業（令和2年度実施）                  ①平成30年度～令和元年度の実証事業の経過を踏まえ、有識者と意見交換を行った結果を用い増殖施設の設置を行う。                  ②移植後も継続的に有識者との意見交換を行い、設置事業終了後の施設管理・活用に役立てることとする。                  ※設置事業終了後も、漁業者自らが本事業の手法を用い、コンブ・ウニ・アワビ増殖に取り組む。</p> <p><b>【基幹事業との関連性】</b>                  基幹事業で高台での住宅用地の整備や集落道の整備等、漁村コミュニティの再生に必要な施設の整備を行っているところであるが、漁村コミュニティの維持のためには地域の経済を支えている漁業の復興が必要不可欠である。本効果促進事業で実施するコンブ・ウニ・アワビの増殖手法の確立は宮古市の採介藻漁業の復興を推進するものである。</p> <p><b>【事業年度】</b>                  平成30年度～令和2年度</p>							
(千円)							
工種	数量	前回積算事業費		今回積算事業費		全体増減	備考
		前回計画	前回配分	今回計画	今回申請		
H30～R元年度事業費		20,633	20,633	13,609	△ 7,024	△ 7,024	
実証施設整備工事	1式	19,629	/	10,584	/	△ 9,045	H30年度実施
水中ドローン購入費	1式	1,004	/	842	/	△ 162	H30年度実施
潜水調査費	1式	0	0	2,183	/	2,183	R元年度実施中
R2年度事業費		60,851	0	41,187	41,187	△ 19,664	
回復施設整備工事	1式	60,851	0	41,187	41,187	△ 19,664	
計		81,484	20,633	54,796	<b>34,163</b>	△ 26,688	
※今回計画のうち、実証施設整備工事・水中ドローン購入費はH30完了のため、実績額。潜水調査はR1実施のため、執行見込額							

※ この様式は、原則として、参考様式第1の別添2に記載した細要素事業名ごとに作成し、概要を示す図面を添付してください。